

フードバンクかながわ 通信



「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ

ただ今、フードドライブ食品の点検・仕分けのボランティアを募集しています。

基本情報 2022年度の累計 (2021年度寄贈287ト提供270ト)

寄贈 93.7ト 前年同月比131% 提供 107.1ト 前年同月比138%

7月

寄贈食品計	23.0ト	提供食品計	289回	26.1ト
企業・生協等	9.7ト	行政・社協	66回	4.0ト
フードドライブ	5.7ト	地域フードバンク	81回	12.2ト
寄付金購入	7.6ト	こども食堂等	115回	8.4ト
		施設・福祉・外国関連	27回	1.5ト

紙幅に限りがあり敬
称略で報告します。

合意書締結団体

寄贈締結団体 236団体
提供締結団体 296団体
行政・社協 60団体
市民団体 236団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)

食品回収拠点約300か所

賛助会員寄付状況

団体会員 210団体 671口
671万円
個人会員 293人 1,478口
1,478千円
寄付
2022年度 10,514,550円
累計
64,499,413円

寄 贈 (入庫)

7月は23トの入庫。20年17.5ト
企業での常設のフードドライブ実
施店舗が増えている。イトーヨー
カ堂では8店舗増えて26店舗に。

○事業者寄贈

コカ・コーラより飲料1.2ト、山
崎製パンよりパン0.4ト、アレフよ
り冷凍野菜0.6ト、日本食研より
鍋スープ等、ファンケルより発芽
玄米、ミツハシより米、相鉄ロー
ゼンより米、フードバンク横浜、
ユーコープ、日生協、ナチュラル
コープヨコハマ、生活クラブ

○防災備蓄品

日新、ハイマックス、JVCケン
ウッド、トヨタモビリティパーツ、
横浜商科大学

○フードドライブ

イトーヨーカ堂26店舗、無印良品
38店舗、そうてつローゼン17店
舗、イオン、中栄信金、住友重機
労組、日立労組・神奈川県西支部、
小田原・足柄労協、川崎労協、
西湘労協、JA横浜・磯子支店、
JA横浜女性部、綾瀬市社協、栄区
役所、本田技研、金泉寺、かなが
わ学生ボランティア連合、フード
バンク横浜、ユーコープ、パルシ
ステム、フードバンクかわさき

○米一合運動/プロジェクト

県中央労協、川崎労協、西湘
労協、横浜労協、三浦半島労
協・三浦半島地域連合、かなが
わ学生ボランティア連合(葉山)、
日立労組かながわ県西支部

提 供 (出庫)

出庫は26.1ト。20年19.0ト。
フードパントリー活動の継続に
よる。冷凍食品やパンの受け取
りも広がっている。

○行政・社協・委託

横浜市・区社協、横浜市ひと
り親支援(母子寡婦福祉会)、
相模原市、横須賀市、茅ヶ崎
市、海老名市、鎌倉市他

○地域のフードバンク

浜っ子南、くろーばーマーケット、
お福分けの会、報徳食品支援セ
ンター、神奈川フードバンクプラス、報
徳食品支援センター、お福分けの
会、くろーばーマーケット、浜っ子
南、ビーバーリンク、フードバン
クふじさわ、かんきつ教会、コ
コロにたねまき、さろんで、
さくらの森他

○こども食堂居場所等

横浜市立大学、キッズカフェ
杉田、アフリカヘリテイジ
コミュニティ、ひまわり、思
いやりカンパニー、子ども食
堂がじゅまる、しんぱし子ど
も食堂他

○福祉・病院・外国関係

スマイルオブキッズ(リラの
家)、ブラジルSolidario、リン
クトゥミャンマー、なんとか
なる、DV対策センター、
K2インターナショナルゲ
ループ、小山高齢者支援セン
ター他

有料レジ袋収益金を地域支援に



相鉄ローゼン(株)様は創立60周年を迎え、
SDGs一環として、2021年度の有料レジ
袋収益金を活用してミツハシ様から米を購
入し、7月より毎月2回270kg、年間6.6ト
をご寄付いただきます

ウクライナの子どもたちにお菓子と軽食の支援



横浜市と姉妹都市にあるウクラ
イナのオデーサ市から短期的に
避難している子どもたち12名と
引率者2名に横浜YMCAを通じて
食品をお届けしました



メッセージ SDGsを合言葉に共助の輪を拡大!



神奈川県政策局
いのち・未来戦略本部室
SDGs推進担当課長
湊 治子 様
(写真右側)

2020年に世界を襲った新型コロナウイルスの感染拡大は、
SDG s 達成を後退させ、特に女性や子供などに大きな影響
をもたらしたと言われています。コロナ禍でアルバイトが無
くなり、生活困窮に陥った方々の状況はマスコミでも大きく
取り上げられました。

そこで神奈川県では、2021年秋に生活困窮者対策本部を
立上げ、全庁一丸となってその対策に取り組むとともに、S
DG s を道しるべに「共助」の輪を拡大する取り組みを開始
しました。

その一つが10月に市町村や「かながわSDG s パート
ナー」を中心に呼びかけた「フードドライブ活動」です。従
来環境部門が実施していたフードドライブを、福祉部門とも
連携して実施した反響は大きく、大変多くの企業等の参加を
得て、多くの御寄附を頂くとともに、社員の意識向上につな
がった、今後も続けたい等の御意見を頂いたところでした。
22年度も引き続き、フードバンクかながわ様に御指導頂き、
フードドライブ活動を通じた共助のパートナーシップの拡大
に取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

第1回フードバンク活動政策研究会



「フードバンクふじさわの設立と地域連携力」

5月29日で設立1周年を迎えたフードバン
クふじさわ副代表の鷲尾公子さんをお迎え
してお話を伺いました。

ふじさわNPO法人連絡会、藤沢市ちいさ
ささえあいセンターでの活動をもとに始
まったフードバンク活動は、地域福祉の拠
点6か所で、ひとり親世帯、一人暮らしの
大学生等、支援を必要としているへの活動
として地域に広がっています。食支援の
ボランティア活動を通して社会的に孤立を
深めた人の社会参加にもつながっています。

行政、社協と市民団体がそれぞれの力を
発揮して人、モノ、情報など、それぞれ
が持っているありとあらゆる社会資源を結
集させて取り組むフードバンクふじさわの
取り組みは、より良い福祉のまちづくりの
実現のためのモデルとなっています。



7月のフードバンク

冷凍品はすぐ食べられる、子どもでも作れると利用した団体からたいへん喜ばれています。食品企業の皆様、冷凍食品のご提供をお願いいたします。米の需要は高く、入庫してもすぐに出庫する状況が続いています。引き続きお米の寄付も歓迎しております。



ユーコープ 夏休み 親子フードバンク体験

学習と仕分け体験に 5組の親子が参加しました



JA横浜女性部様より寄贈食品とともに募金活動で寄せられた寄付金を届けていただきました



日本インジェクタ・ミクニ労組様「体験を通して得たことを今後のフードバンク活動で発揮したい」とのメッセージをお寄せ頂きました



ハイマックス様より保存食セットの寄贈とボランティア体験

企業、団体、個人のみなさまから合計5.7トンのフードドライブ品をお届けいただきました



三浦半島労働協様



かながわ学生ボランティア連合様



第一生命様



ナチュラルコープヨコハマ様より賛助会費と組合員に呼びかけたフードドライブ品を寄贈いただきました。



中区消費生活推進委員の皆様



アレフ様より冷凍野菜



トヨタモビリティパーツ様



無印良品様フードドライブ品



日立労組様フードドライブ品



フードバンクかわさき様よりフードドライブ品の食用油をお届けいただきました

フードバンクの取り組みを紹介しました
これをきっかけにフードドライブやボランティアの問い合わせにもつながっています



開成南小学校 4年生の授業



神奈川大学法学部自治行政学科での講義



横浜商工会議所小売部会にて

ボランティア急募！
8月、9月に生協からのフードドライブ品が大量入荷します

ボランティア月～金
①10時～12時
②13時～15時
お電話ください



フードバンクかながわ
ホームページ